

2013年2月1日

各位

愛知大学東亜同文書院大学記念センター
センター長 馬場 毅
(公印省略)

愛知大学東亜同文書院大学記念センター主催
沖縄展示会・講演会「東亜同文書院大学から愛知大学へ」のご案内

拝啓

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

このたび、愛知大学東亜同文書院大学記念センター主催による展示会と講演会「東亜同文書院大学から愛知大学へ」を沖縄にて開催するはこびとなりましたので、以下のとおりご案内申し上げます。

なお、開催にあたり印刷物を作成いたしましたので、同封いたします。ご多忙のこととは存じますが、ご高覧いただきたくご案内申し上げます。

末筆ながら今後益々のご発展をお祈り申し上げます。

敬具

記

◆ 沖縄展示会・講演会「東亜同文書院大学から愛知大学へ」

開催日時： 2月16日（土）

講演会 14：00～16：00

展示会 13：00～18：00

2月17日（日）

講演会 11：30～14：00

展示会 10：00～15：30

会場： 沖縄産業支援センター

(沖縄県那覇市字小禄 1831 番地 1)

<聴講無料／予約不要>

以上

【連絡先】

愛知大学東亜同文書院大学記念センター

〒441-8522 愛知県豊橋市町畑町 1-1

電話：(0532) 47-4139 / FAX：(0532) 47-4196

担当：森

東亜同文書院大学から愛知大学へ 沖縄展示会・講演会

2/16
sat.

資料
展示
会

13:00
|
18:00

講演1 14:00-15:00

大城立裕 [芥川賞作家]
私と東亜同文書院

講演2 15:30-16:00

馬場毅 [東亜同文書院大学記念センター長・愛知大学現代中国学部教授]
東亜同文書院大学から愛知大学へ

●展示・講演会場 1階ホール 101/102

2/17
sun.

資料
展示
会

10:00
|
15:30

講演1 11:30-12:00

武井義和 [東亜同文書院大学記念センター研究員]
愛知大学における孫文

講演2 12:00-12:20

佃隆一郎 [東亜同文書院大学記念センター研究員]
愛知大学と沖縄をめぐって

講演3 13:00-14:00

百田勝彦 [沖縄税理士会会長]
私と愛知大学、そして沖縄

●展示会場 3階中会議室 (305号室)
●講演会場 3階大会議室 (302/303号室)

愛知大学東亜同文書院大学記念センターは、本学の前身ともいえる1901年上海に設立された東亜同文書院大学に関する研究について、2006年に採択された文部科学省の「学術高度化推進事業(オープン・リサーチ・センター)」に続き、2012年「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」に採択されました。

東亜同文書院大学の研究と収蔵資料の公開については、これまで「東亜同文書院大学から愛知大学へ」をメインテーマに、横浜をはじめ国内外のゆかりの地で展示会と講演会を行ってまいりました。今回は収蔵資料の公開は初となる沖縄で、東亜同文書院大学に学びその体験から『朝、上海に立ちつくす小説東亜同文書院』を発表されている大城立裕氏ほかの方々の講演会とあわせて展示会を開催いたしますので、ぜひご参加いただき、東亜同文書院大学から愛知大学への展開について広く知っていただけたら幸いです。

主催：愛知大学東亜同文書院大学記念センター
後援：沖縄タイムス／琉球新報／(財)霞山会／愛知大学同窓会

2013年2月16日(土)17日(日)

沖縄産業支援センター 那覇市小祿1831番地1
TEL 098-859-6234

バス：那覇バスターミナル向かい国税庁舎前の旭橋バス停から
89番糸満線で約10分金城バス停下車、金城バス停から徒歩3分
56番浦添線で約10分金城バス停下車、金城バス停から徒歩3分
モノレール：那覇空港駅から約5分小祿駅下車、小祿駅から徒歩約15分



お問合せ●愛知大学東亜同文書院大学記念センター
〒441-8522 豊橋市町畑町1-1 TEL 0532-47-4139 FAX 0532-47-4196
E-mail: tshien@ml.aichi-u.ac.jp

東亜同文書院大学

愛知大学の前身ともいえる東亜同文書院大学をはじめ、中国の革命家・孫文に関する資料を展示



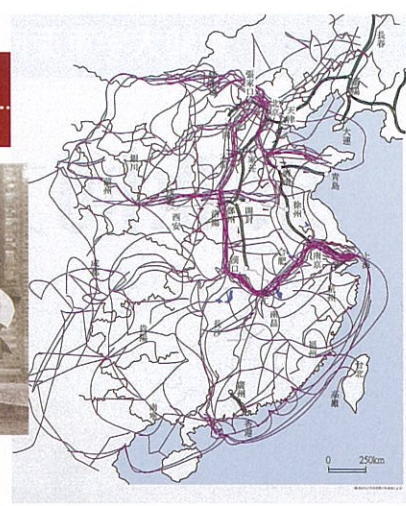
荒尾 精(1859~1896年)
1890年、東亜同文書院の前身にあたる日清貿易研究所を上海に開設。



近衛篤磨(1863~1904年)
近衛文麿の実父。貴族院議長、東亜同文会会長。東亜同文書院設立の構想を打ち出し、当初南京に開校した。

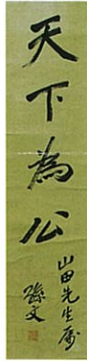


根津 一(1860~1927年)
日清貿易研究所の運営に携わり、近衛篤磨に協力して東亜同文書院設立に尽力。院長も務めた。

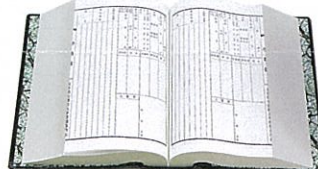


大旅行

東亜同文書院では卒業年度になると3~5人のグループごとに中国大陸各地へ3~5ヶ月におよぶ徒歩中心の調査旅行が行われた。(現在の大学2、3年生)
卒業論文となった「調査報告書」(写真左)、日記体の記録「大旅行誌」は当時の中国を知る貴重な資料となっている。



孫文と山田純三郎
山田純三郎は、兄の良政亡き後、東亜同文書院教員を経て、孫文の側近として活躍。



東亜同文書院大学の学籍簿・成績簿

敗戦・閉校にともない、本間らの苦心により接収を免れ、何よりも優先して上海から教職員、学生が持ち帰ったもの。



愛知大学

創成期から現在の愛知大学に至るまでに蓄積されてきた、多くの史資料の中でも代表的なものを展示

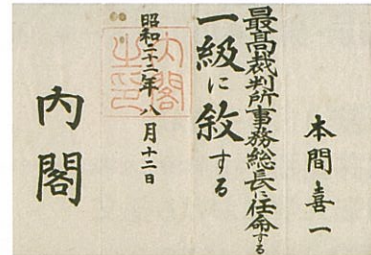


本間喜一
(1891~1987年)
東亜同文書院大学最後の学長(第3代/1944~1945年)。戦後は愛知大学第2代・第4代学長。

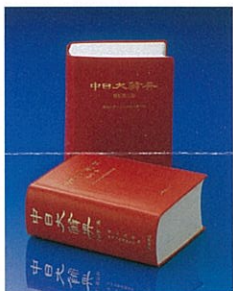


愛知大学設立認可書

東亜同文書院大学最後の学長であった本間喜一が1946(昭和21)年3月に帰国し、同年8月1日申請、同年11月15日に認可されるというスピードであった。これには当時文部大臣であった田中耕太郎(第一高等学校・東京帝国大学時代の同級生で親友)の存在が欠かせなかった。

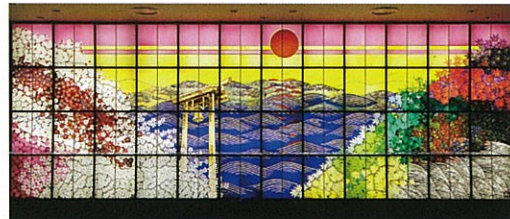


最高裁判所事務総長 辞令
戦後の新憲法施行に伴い最高裁判所が発足、そして三淵忠彦最高裁判所長官の指名により初代最高裁判所事務総長に就任した。



中日大辞典

日中国交正常化前に東亜同文書院作成の華日辞典原稿カード14万枚が中国から愛知大学に返還、1968年日本で初めて刊行された。



平松礼二「日本の新しい朝の光」(2003年)

平松は1964年愛知大学を卒業し、2000年から10年間『文藝春秋』の表紙を担当した日本画家。



東松照明

「皮肉な誕生」(1951年)
東松は1954年愛知大学を卒業し、晩年は沖縄を拠点にした写真家。本作品は在学中に撮影された。



愛知大学東亜同文書院大学記念センター

〒441-8522 愛知県豊橋市町畑町1-1 電話0532-47-4139 <http://www.aichi-u.ac.jp/orc/index.html>
《交通アクセス》豊橋駅より豊橋鉄道渥美線で5分愛知大学前駅下車